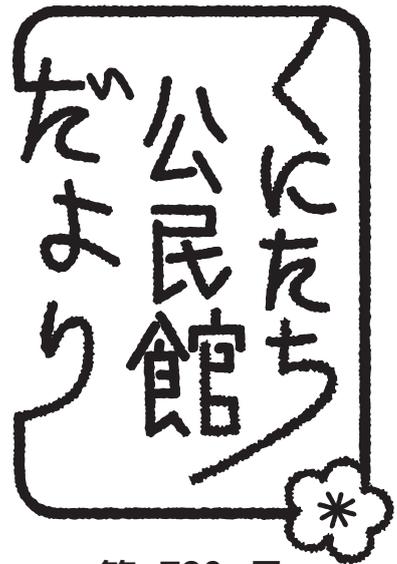


# 講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今回は昨年講座に参加された方々にいただいた感想をまとめました。参加していない方にも、講座参加者の声から学びを味わっていただけると幸いです。



第 780 号

2025年 2月 5日  
(令和 7年)

「くにたち公民館だより」  
デジタルブック ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

令和6年7月27日開催(環境講座)  
「レイチェル・カーソンに学ぶ  
環境へのまなざし」

講師に多田満さん(写真・国立研究開発法人 国立環境研究所)と田中迅さん(同研究所)をお招きし、前半はレイチェル・カーソンの生い立ちや著書で述べていること、後半は環境問題に対する世界のアプローチについてお話いただきました。



## 今に続くレイチェル・カーソンの価値観

たつの  
龍野  
まよこ  
瑤子

この企画は、1960年代に環境問題を告発した生物学者レイチェル・カーソンが没後60年だったこともあるようですが、夏の酷暑の、地球温暖化、気候変動を感じざるを得ない中で開催され、環境問題を考えるのに実感迫るものがありました。レイチェル・カーソンといえばその著書『沈黙の春』

や『センス・オブ・ワンダー』が有名です。アメリカのタイム誌で、20世紀に最も影響力のあった100人に女性でただ1人選ばれ、またロバート・ダウンズ『世界を変えた本』の27冊中の1冊が『沈黙の春』だそうです。DDTなど化学物質を農薬として使うことの危険性を訴え、高度経済成長の時代



バリ市の事例について解説する田中迅さん。(講座開催日はバリオリピックの開会式の翌日でした)

の産業公害について人々が考えるきっかけになりました。でも今は時代が変わり、産業型ではなく都市型、生活型の公害が問題、と多田さんは指摘されていました。田中さんからは、この講座がちやうどバリ五輪の時期で、100年間遊泳禁止だったセーヌ川がオリピック会場になっているが、セーヌ川は日本の道頓堀川より8倍汚染されている、という話題や、アメリカの人は1週間で平均6〜7グラムのプラスチックを摂取し

ているなど、現在の海外の情報も教えていただきました。

私は文系畑にいて、レイチェル・カーソンの名前は知っていても、学ぶ機会がありませんでした。この講座がなければ、今後もし縁がなかったかもしれせん。しかし参加してみても新たな知識を得ることができました。自分の関心分野とは違う、でもその分野では誰でも関心をもつような、大学の一般教養科目のような講座を今後も開講して欲しいと思いました。

### 講座担当者から

2024年はレイチェル・カーソンの没後60年という節目の年でした。『沈黙の春』を筆頭に彼女の言説を改めて知るとともに昨今の環境問題と併せて考える機会を設けたいと思い企画しました。質疑応答でも活発に意見が交わされ、私自身学びとなりました。

くにたち公民館だよりが第10回全国公民館報コンクール(全国公民館連合会主催)で特別賞を受賞しました!

公民館だより編集研究委員をはじめ、市民の皆様様の協力もあって、受賞することが出来ました。ありがとうございます。引き続きより良い紙面になるように、取り組んでまいります。



コンクール詳細 ▶



当日は会場で29名、オンラインで19名にご参加いただきました

令和6年9月1日開催  
〈情報科学講座〉「AI ってそもそも何ですか? —ゼロから学ぶAIの基礎知識—」

同志社大学人工知能工学研究センター長の土屋誠司さん(写真)にオンラインでお話をいただきました。ゼロから学ぶということで、基本的な内容から「AI(人工知能)」の歴史、仕組み、そして未来について学び、最後には「人間に向き合う」という普遍的なテーマが投げかけられました。



### 参加者の講座アンケートから

※内容は抜粋・編集をしています。

・ これまでも人工知能のブームは何回も起こっており、現在は第3次ブームにあたるという点は興味深かった。人工知能の定義は明確ではなく、例えば1980年代の第2次ブームの際は、室温の変動に合わせて緩やかに温度を調整するエアコンなど、「ファジイ」という人工知能機能がブームになった。現在、この言葉が死語になったのは、この技術が当たり前になった

からであり、今話題になっているAIの新技术もいつか当たり前のものになり、AIと呼ばれなくなるといふ話はあるほどと感じた。

・ 生成AIは平気で自信を持って嘘をつくことがある、多数決の原理でバイアスが誇張される、嘘の情報の方がより広がるといった危険性を理解しました。一方で良くできた非常に便利な道具であり、他人と接するように、信用できるか否かをチェックしながら扱うという考え方も参考になりました。

・ AIが「ニューラルネットワーク」という人間の神経回路を模した情報処理を行っていること。人間は成人期でも鍛えることで、脳細胞ネットワークが復活したり



公民館図書室には講座関連図書として、小中学生でもわかる、やさしい情報科学の本があります

### 講座担当者から

AIが生活に大きく関わる時代になったことに、漠然とした不安や抵抗感を感じている方も多いと思います。そこで、まずは基礎知識を学ぶことで、日々更新されるAIに関する情報に興味を持つきっかけになればと思います。講座を企画しました。

構築できたりすること。AI研究が逆に人間の研究に活かせることがあるという点が印象的だった。  
・ 先生の「ちゃんと『人間』できていますか?」という問いかけにはっとしました。AIのできることでどんどん開かれていくのに対して、人間のやることは閉じていつてしまっている。これからは人間らしさに向き合う時代になるのだと感じました。お話を聞きすぎるまで、AIは自分と少し離れた話と何となく感じていましたが、最終的に自分ごとであることをはっきりと実感しました。

### 防災講座で垣間みえる公民館のある暮らし

十屋 一登

この日は、0歳7か月の息子と73歳の母と共に、国立市公民館で開かれていた「公民館 de 防災」にふらりとやってきました。

を知り、言葉を交わすきっかけという意味もあるのかもしれない。当日は、確かに人と人の出会いや、関わりしろ、が生まれた日であったように思います。市民交流ロビーでは、国立市社会福祉協議会の職員さんが、令和6年能登半島地震でのボランティアについてご説明されていました。防災クイズでは、職員さんの優しい語りかけと、子どもたちが問いに対し

た。防災講座は、お隣さんの顔

て純粋に向き合っている姿が、印



消防服を着て、消防車と記念撮影!



いざというときのためのAED体験



防災用品の展示や備蓄食料など

令和6年12月8日開催  
〈地域防災講座〉「公民館 de 防災」  
当日は公民館全館を使用して、11のブース(地震波実験&地震と防災のお話、災害時の水とトイレのお話、水消火器体験&消防車と記念撮影、防災グッズ展示&フードロス対策、子ども食堂のカレー配布、AED体験、応急処置体験、ポリ袋タッキング、防災クイズ、災害時の健康管理、国立の防災について)を設け、スタンプラリー形式で自由に巡る講座としました。それぞれのブースは普段から防災や、地域での居場所やつながりづくり活動されている方々にご協力いただきました。地域の方々との交流も多く生まれる講座となりました。



映像を交えて、災害ボランティアのお話を伺います  
(写真中央が土屋さん)

象的でした。  
また、地下ホールでは、社会貢献活動に積極的なニッポー設備株式代表取締役の田中友統ともりさんが、災害時のトイレについてお話をされていました。「災害支援隊」としてさまざまな被災地を訪問し、ボランティア活動をされている方の言葉に、参加者の眼差しも真剣だったように感じます。ほく自身も、災害時にはあたりまえのようにトイレに行くことができないうことを突きつけられ、あらためて「いざというときにどうすれば良いのか」ということを考えたと思った次第です。

講座担当者から  
参加者は、災害時の備えや食についてのお話を伺ったり、防災グッズを実際に触ったりと、様々な観点から災害や防災について考える機会となったのではないのでしょうか。子どもから高齢の方まで、たくさんの方が訪れました。来年度も同様の講座を実施予定ですので、ぜひお立ち寄りください。

今回に限らず、ほくにとつて国立市公民館は、多くの人との出会いと、関わりしるゝになっていると思います。ほくは、令和5年度から「リカバリーの学校@くにたち」という事業を国立市公民館と連携して実施しています。そのことがきっかけで、公民館職員の方々、公民館に集う青年室の方々、公民館運営審議会委員や社会教育委員の方々等、本当にたくさんの方々とお会い、色々と教えていただきました。  
またそれは、国立市内外の社会教育の関係者にとどまらず、多様な市民や地域福祉、高等教育等、文字数の関係で言及できないくらい、たくさんの人たちと出会うことが出来たのです。この出会いを簡単に表現することは難しいのですが、例えるなら、まちなかではつたり会ったときに、「あっ！このまえの」や、「あれ、もしかして、あるいは「久しぶり！」とつい声をかけてしまうような出会いのかな、としみじみ思います。  
考えてみれば、防災講座だって、公民館職員の方から、「土屋さん、〇〇さんもいらっしやるので、いらしてみませんか」というお誘いを受けて、家族と訪れたのです。こういった関係が増えていくことが館長さんのおっしゃっていたことなのかもしれません。

〈講座 詩の世界〉  
いま、戦後詩をみつめる  
～「黒い詩歌」が映し出すもの～

講師 河津 聖恵きよえ (詩人、評論家)  
水島 英己ひでおみ (詩人) 加部 洋祐 (歌人)

昨年度開催した「いま、戦後詩をみつめる」の続編として、昭和の時代の詩歌作品とその時代背景を読み解き、それらが現在に問いかけるものを考えます。

〈講師からのメッセージ〉

楠田一郎、黒田喜夫、藤田武の作品をとりあげ、文学のアクチュアリティ (現在性・切実性) について考えます。楠田は知る人ぞ知る戦前のシュルレアリスト、黒田と藤田はともに戦後の問題を深く扱った詩人と歌人。3名の「田」の目指したもの、途絶したもの、無意識、絶望、戦い、飢え、夢、それらの描写と表現や、そこにこめられた思いは現在を撃ち、核心に触れ、想像力を刺激しないではいられないものです。

ノーベル文学賞受賞のハン・ガンは「過去が現在を助けている。死んだ者たちが生きている者を救っている」と受賞講演で語りました。全てを今、生きて苦闘している者が解決できるはずはない。見えない手が差し伸べられています。過去から、死者たちから。3名の「黒い詩歌」の中から混迷を照らす「光」と手がかりの「糸」を3名の講師とともに見つける時間です。

とき 3月15日 (土) 昼1時30分～4時30分  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 60名 (申込先着順)  
申込先 2月13日 (木) 朝9時～  
電話またはホームページより申込



〈性教育講座〉  
性を学ぶことはよりよく生きること  
—「包括的性教育」のススメ—  
模擬授業【幼児～小学生編】

講師 渡辺 大輔 (埼玉大学)  
北山 ひと美 (元和光小学校・幼稚園 校長)

皆さんは「包括的性教育」をご存じですか？ 包括的性教育とは、ユネスコなどが提唱している、ジェンダー平等や性の多様性、からだの権利といった人権尊重を基盤に幅広く性を学ぶものです。子どもの年齢・発達に応じて伝え方などを工夫し継続的・重層的に性を学んでいきます。

今回の講座では、講師の北山さんが実際に幼稚園や小学校で行ってきた授業を大人が体験してみます。幼少期の子どもに「からだ」や「性」のことをどのように伝えていけばいいのか悩んだり、子どもの不意な質問にどう答えたらいいのか戸惑ったりした経験のある方も多いのではないのでしょうか。模擬授業の中には、その答えになるようなヒントがたくさん詰まっています！

ぜひこの機会と一緒に学んでみませんか。性別や年代を問わずたくさんの方のご参加をお待ちしています。  
\*各回とも1回30分程度の模擬授業を2～3回行います。

とき 第1回 5才児におこなう「からだのはなし」  
3月2日 (日) 朝10時～12時  
第2回 小学生におこなう「性の話」  
3月9日 (日) 朝10時～12時

ところ 公民館 3階講座室  
対象 子育て中の方、性教育に関心のある方  
定員 30名 (申込先着順)  
申込先 2月7日 (金) 朝9時～  
電話またはホームページより申込



〈文化・芸術講座〉  
アール・ブリュット、その魅力と可能性を探る  
～アートから学ぶ社会における多様性～

講師 大内 郁かおる(東京都渋谷区公園通りギャラリー 学芸員)

近年、各地でアール・ブリュットの作品展が開催されるなど、その概念や作品が注目されています。独創性の高い発想や技法による作品、様々な背景を持つ作家たちは私たちに驚きと新たな気づきを与えてくれます。

今回は、先駆的にアール・ブリュットの普及に取り組んできた東京都渋谷区公園通りギャラリー学芸員の大内さんをお招きし、アール・ブリュットの歴史やその魅力、可能性についてお話しいたします。アートの視点からダイバーシティな社会について考える機会にしたいと思います。

※アール・ブリュット (Art Brut) とは1940年代にフランスの画家ジャン・デュビュッフエによって提唱された言葉です。“Art”は「芸術」、「Brut」は「生の」と訳されます。様々な解釈がありますが、美術の専門教育を受けることなく、自己表現として独自に制作された作品を表します。



とき 3月1日(土) 昼2時～4時  
ところ 公民館 地下ホール 定員 70名(申込先着順)  
申込先 2月12日(水) 朝9時～  
電話またはホームページより申込

〈教育講座〉  
子どものゲーム依存  
親子でどう向き合う？

講師 金田一 堅けん (依存症を専門としている心理師)

「子どもがゲームばかりしているけど大丈夫だろうか」と不安に思うことはありませんか？ゲームに熱中するあまり声をかけても反応がない、食事や寝る時間も守れないということが続けば、「ゲーム依存症」ではないかと心配になる方も多いのではないのでしょうか。

講師の金田一さんは、依存症専門機関「白峰クリニック」の公認心理師として、ゲーム依存の子どもや保護者のカウンセリングを多数行っています。

講座では、「依存」と「依存症」の違いについての解説や、依存症を予防するために今からできる具体的な方法についてのアドバイスをいただきます。また、家庭内でのルールをどのように決めれば子どもが納得しやすいか、さらには、子どもが嘘をついたり、親子間で対立したり、学校に行かなくなったりするなど、保護者が特に悩みやすい場面での対応策についてもお話しいたします。実際にお困りの方はもちろん、ゲーム依存について知っておきたい方もぜひご参加ください。

とき 3月23日(日) 朝10時～12時  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 70名(申込先着順)  
申込先 2月18日(火) 朝9時～  
電話またはホームページより申込



〈親子で遊ぼう・考えよう〉  
部屋いっぱいの風船で遊ぼう！

講師 山田 修平  
(NPO 法人東京学芸大こども未来研究所)

部屋いっぱいに敷き詰められた500個の風船で遊びます。大きな風船、小さな風船、特別な空間で思いきり遊みましょう！



とき 3月9日(日) 朝10時半～12時  
ところ 公民館 地下ホール  
持ち物 飲み物、汚れてもいい服装  
対象・定員 子ども(1歳から小学校2年生まで)と保護者、各回15組(家族単位です)  
※応募者多数の場合抽選、応募状況により、

1時間2部制になる場合があります。

申込先 2月17日(月) 夜9時までの間に、  
ホームページより申込



くにたちまちじゅう本棚  
みんなでシェアする本棚を市内4か所の  
公共施設に設置しています



「読み終えたけれど廃棄するには惜しい本」「誰かに読んでもらいたい本」。そんな本があれば、ぜひお気軽にお持ちください。

2月19日まで市内4か所に設置する「まちじゅう本棚」に置かれた本は、誰もが自由に持ち帰って読むことができます。

公民館では、1階の市民交流ロビーにコーナーを設けています。自分が今まで目に留めなかった本との出会いがあるかもしれません。

- まちじゅう本棚で  
できること
- ①誰かに読んでほしい本を本棚におく
  - ②本棚に置かれた本を持ち帰って読む
- ※使い方は①、②のみでも可能です。汚れや汚損が著しい本、東京都青少年の健全な育成に関する条例第8条に記載されている「不健全な図書類」に該当する本の設置はご遠慮ください。



期間 ～2月19日(水)まで  
ところ 上記の市内4か所  
問合せ 生涯学習課社会教育・文化芸術係  
電話042(576)2111(代)  
中央図書館・公民館・郷土文化館3館連携事業

# —公民館の会場予約のご案内—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、各団体の利用希望を調整する機会を設けています。  
4月～7月（ロビーは5月～8月）の会場調整会日程は以下の通りです。

## ●今後の会場調整会日程

（※いずれも午前10時～）

使用希望月（ロビー）	（☆）申込書のポスト投入期間	（★）重なり団体の掲示日	会場調整会
4月（5月）	2月1日（土）～2月20日（木）	2月22日（土）	3月1日（土）
5月（6月）	3月1日（土）～3月27日（木）	3月29日（土）	4月5日（土）
6月（7月）	4月5日（土）～4月17日（木）	4月19日（土）	4月26日（土）※
7月（8月）	4月26日（土）～5月29日（木）	5月31日（土）	6月7日（土）

※第1週の土曜日ではありません。ご注意ください。

### ●会場調整会参加の流れ

- ①表（☆）のポスト投入期間に、公民館1階入口正面の会場別ポストに「申込書」を入れてください。
- ②表（★）の日程で、重なり団体一覧を館内に掲示します。ホームページからもご確認いただけます。
- ③重なるの掲示があった団体…会場調整会への参加調整会は1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。（開始時間に遅れたり、不参加の場合は、使用希望は取り消しとなります）



重なり団体一覧

重なるの掲示がなかった団体…  
お申込みの日程で会場を仮予約できています  
（調整会参加の必要はありません）  
会場調整会の翌日以降、2階事務室へ本申込みにお越しください。

### ★「参加申込書」を提出していない団体の予約方法

- ・2階事務室での受付…会場調整会当日の午後2時～
  - ・電話での仮予約…会場調整会当日の午後3時～
- ※受付期間：午前9時～午後5時（月曜、祝日、年末年始を除く）

\*詳細や不明な点は、HPをご確認いただくか、公民館窓口にお問合せください。  
\*会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力により実施しています。



申込方法詳細

〈職員不定期「ラム」公民館の窓〉  
居心地のよい公民館を  
目指して

市役所本庁から公民館に異動して10か月になります。最初は、慣れない環境と仕事内容にとまどいましたが、料理やダンス、コーラスなど皆さんの活動の様子を拝見し、趣味・教養など、自分が好きなことに、仲間と全力で打ち込む姿に元気をもらいました。  
私は、講座の運営に加え、施設管理の仕事を担当しています。この10か月間、トイレの詰まりや、便座の破損、窓ガラスが割れたり、電気がつかなくなったり…。解

決しても次々にトラブルが発生し、その度に奔走して来ましたが。当初は、公民館の老朽ぶりに少し悲しい気持ちになりましたが、今では無事に直った時に味わえる爽快感・達成感がくせになっています（笑）。まだまだ改善したい箇所はありますが、公民館という建物に愛着を感じるようになり、大切に使っていきたいという思いが日に日に強くなっています。

これからも皆さんが安心して公民館へ足を運び、快適に活動していただけるよう、設備・備品の充実や利便性の向上に力を入れていこうと思います。古くても「居心地の良い公民館」を目指します。  
(C・I)

### 公民館運営審議会報告

1月14日（火）第35期第3回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名出席。傍聴人3名。

前回議事録確認  
議事録修正あり。

#### 報告事項

公民館だより編集研究委員会、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会、社会教育学習会担当委員より報告。

東京都公民館連絡協議会より2月8日（土）開催の第61回東京都公民館研究大会の再度案内。社会教育学習会担当委員より、次回学習会2月14日（金）の内容を紹介し、委員の出欠を確認した。

#### 審議事項

2/4月の公運審の予定を確認。現在の公民館事業について担当職員から内容や意図などの説明を聞き、第35期のテーマ設定にむけて今後、全委員から調査テーマを募り検討していくこととした。

#### 委員研修

学識の田中雅文委員（日本女子大学名誉教授）より「学びの場としての公民館の役割を考える」多様化する学習環境のなかで「と題した講話、3つのグループに分かれて、感想等について各委員で対話をした。その後、各グループから出た質問や感想を共有した。次回2月18日（火）夜7時15分から講座室。傍聴歓迎。（大貫）

## 今月の公民館 (2月～3月)

- 2月15日(土)朝～ 文化・芸術講座「『民藝』への招待」
- 16日(日)昼 <中央図書館・公民館・郷土文化館3館連携事業>  
ドキュメンタリー映画上映会  
『ニューヨーク公共図書館エクス・リプリス』
- 3月1日(土)昼 文化・芸術講座「アール・ブリュット、その魅力と可能性を探る～アートから学ぶ社会における多様性～」
- 2日(日)朝～ 性教育講座「性を学ぶことはよりよく生きること～『包括的性教育』のススメー模擬授業【幼児～小学生編】」
- 9日(日)朝 親子で遊ぼう・考えよう  
「部屋いっぱい風の風船で遊ぼう！」
- 15日(土)昼 講座 詩の世界「いま、戦後詩をみつめる～『黒い詩歌』が映し出すもの～」
- 23日(日)朝 教育講座  
「子どものゲーム依存 親子でどう向き合う？」

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。  
公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内

# ひろば



### アクアかもめ水泳会員募集

運動不足の方、健康な体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者～上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。(無料)

日時 毎週金曜日 朝10～12時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 江端042(572) 9974

### フットサルチーム「ソラーナ」

市内で活動中の男女エンジョイサークルです。10～60代まで幅広い年代で毎週汗を流しています。熟練指導者によるサポート有り。気軽に体験からでも御連絡下さい。

日時 毎週日曜日 昼3時～6時  
場所 市内小学校体育館  
連絡先 磯080(358) 6711

### 国立ベタンク倶楽部

ベタンクはフランスでサッカーの次に競技人口の多いスポーツです。老若男女が公園で楽しく、気軽に行うことができます。先ずは見学・お試し参加大歓迎です。  
日時 (水・金) 朝9時半～11時  
場所 谷保第三公園  
連絡先 永松042(511) 7057

### 二重被爆3世の原田小鈴さんに きく語りつく原爆・人権・平和

広島・長崎二重被爆者の祖父山口彌さんの体験を4代に亘り語りつぎ平和を訴える原田さんのお話。学習会実行委員会主催。入場無料  
日時 2月8日(土) 昼2時～4時  
場所 一橋大学本館21号室  
連絡先 押田090(3804) 4991

### 写真展(令和6年度) 光遊会

サークル活動で撮影した、自然の美しさや建物等一年間の集大成の写真を展示しています。ぜひご覧ください。

日時 2月11日(火・祝)～16日(日)  
場所 公民館1階市民交流ロビー  
連絡先 青木090(6159) 5359

## 「サークル訪問」に掲載を希望する サークル募集!

「サークル訪問」は、公民館だより編集研究委員会の委員が市内で活動するサークルに伺って取材し、公民館だよりへ記事を掲載するコーナーです。活動内容の紹介や、メンバー募集を希望するサークルのみならず、ぜひご連絡ください。  
(お問合せ先) 公民館 ☎042(572) 5141

### 「サークル訪問400」 「line」(LINE)

「矢川プラス」の玄関を入った右手の多目的ルームには、色とりどりの折り紙からハサミで切り出した「きりがみ」素材やクラフトパンチで抜いた「型抜き」素材が並べられています。この日行われていたのは、「line(いーぜ)」が主催する「きりがみアート」のワークショップ。

参加者はお気に入りの切り紙を選び、色画用紙に自由に配置して、自分だけのアート作品を作り上げます。親子や世代を超えた交流も盛んで、参加者一人ひとりの「好き」や「得意」「やりたい気持ち」を尊重した温かい場が広がっています。

代表山根浩子さんは、矢川プラスのオープン以来、ワークショップを毎月開催しています。また、くにたち市民文化祭では公民館を会場に同様の活動を行い、多くの市民の方々に楽しんでもらっています。lineは「多様な個性」を大切にすることを理念に掲げています。このワークショップもその一環であり、創造性や感性を育むだけでなく、誰もが自分らしくいられる場を提供しています。  
先生のソルさん(立岡里司さん)は、長年の海外ビジネススマンを経



すてきな作品、いっしょに作ろう!

て、lineと出会い、「きりがみアート」を通じて子どもたちや大人たちの創造力を引き出しています。山根さんは「lineでは、お互いの夢や得意を応援することで、新しい可能性を広げています」と語ります。毎月のワークショップに加え、地域イベントでの実施もあり、活動は地域の文化や交流を深める場として成長を続けています。2月のテーマは、おひなさまとお花見のきりがみ。オンリーワンの作品作りに挑戦してみませんか?

日時 月1回週末または祝日  
昼1時30分～4時30分  
場所 矢川プラス多目的ルーム  
参加費 中学生以下 300円  
高校生以上 500円  
連絡先 山根 090(236) 8485  
(文・写真 鶴田 美緒)